

二枚爪、爪が伸ばせない、

縦線、亀裂、剥離……

改善しない爪の傷みでお悩み
のネイリストさんへ

1. お客様の爪が傷んでいくのを見て心が痛む
2. 「しばらくネイルをお休みしたい」というお客様に提案できるメニューが無い
3. 爪が傷んできたお客様が来店しなくなる

4. ハードナーやベースコート無しでは日常生活が難しいほど自分の爪がボロボロ

5. ネイルケア専門、自爪の育成をうたうサロンへ行ってみたけれど「透明なコート剤」「表面磨き」「フィルイン」のどれかで、同じ事の繰り返しで改善しなかった

6. アクリルや有機溶剤のアレルギー症状が出てきて、この先も仕事を続けられるか不安

新しい可能性

もし、このような悩みや不安をお持ちでしたら、「育爪トリアル講座」にご参加いただくことで、具体的な解決方法が見つかったり、悩みや不安が解消されたり、将来に希望を感じたりするかもしれません。

はじめまして、育爪（いくづめ）の嶋田です。

わたしたちは、自分たちのお店を育爪サロンと呼んでいます。爪に施術をするという大きな意味で、ネイルサロンの一種だと思っています。

ただ、一般的なネイルサロンと大きく異なる点があります。

それは、施術の最初から最後まで、素の爪のままお手入れをして、素の爪でお帰りいただく、という点です。

素の爪の専門家

わたしたちのお客様の1,000人中997人は素の爪です。残りの3人はジェルネイルをしていて、素の爪に戻したいというお客様です。

13年間以上、素の爪ばかりを見ていますので、どのようにしたら素の爪が健康になり、その人が本来持つ美しい爪がよみがえるのか、膨大な経験と情報の蓄積があります。

わたしたち育爪スタッフは、ネイリスト技能検定は3級すら取得していませんが、ナチュラルネイルに関する技能と経験は群

を抜いていると思います。素爪
(すづめ) オタクですね。

お客様の爪の状態を見ながらお話を聴くことで、病気以外の爪の悩みが発生している原因を切り分け、効果的な解決策を提案して、お客様に納得していただいた上で、素の爪が健康になる習慣を実践してもらっています。

新規のお客様が急増中

ここ数年、ネイルサロンや自分自身でジェルネイルをした結果、素の爪がボロボロになってしまったので健康な状態に戻したい、というお客様が急増しています。

皮肉なことに、ネイルサロンに行く方や、セルフネイルをする方が増えれば増えるほど、いろいろなサロンを渡り歩いた結

果、わたしたちのサロンにたどり着く方が増えているようです。

お客様離れが減る いちばん簡単な方法

なぜ、育爪サロンのお客様が増えているのかというと、素の爪を素の爪のままお手入れするサロンがほかに無いからです。

普通のネイルサロンでも、アクリルコーティングや表面磨きをせず、素の爪のまま施術し、素の爪でお帰りいただくメニューを用意すれば、離れて行くお客様が今より減るのではないかと思います。

完成形が「表面磨きもしない素の爪」というメニューを提供しているサロンはほとんどありま

せんので、新規のお客様も増えるかもしれません。

「育爪」や「爪育」はわたしたちの登録商標なのでお使いいただけませんが、育爪や爪育を名乗るまでもなく「素の爪をキレイにしたい」お客様はたくさんいらっしゃいますし、もしかしたら、あなたのサロンにもたくさんいらっしゃるかもしれません。

ネイル業界でよく耳にすること

「爪はそのままでは弱いから、硬くして保護する必要がある」という説明を見たり聞いたりすることがあります。わたし自身、10年間以上、そう信じていました。

爪のすきまに入り込む

アクリル（合成樹脂）

アクリル樹脂は通常の状態だと硬い固体です。それに溶剤と呼

ばれる液体状の「溶かす薬剤」
をかけると、アクリル樹脂が溶
けて液体状になります。アクリ
ル樹脂はプラスチックです。プ
ラスチックは「再形成できる」
という意味です。

ジェル、スカルプチュア、ハー
ドナー、ベースコート、ネイル
ポリッシュ…呼び方はいろいろ
ありますが、すべて化学的に合

成した樹脂、プラスチックで
す。

色があるか透明かは、顔料など
の色素を混ぜているか、いない
かだけで、ベースは無色透明の
プラスチックです。

有機溶剤で溶かした液状のアク
リル樹脂を爪表面に塗ると、爪
の上層部のすきまにアクリル樹

脂が流れ込んで、しばらくすると固まって、すきまが埋まります。

一時的な有機溶剤 vs 長期的に爪表面をふさぐ

医学書「爪」にも書いてありますが、爪からは皮膚の2~3倍の水蒸気が揮発しています。

「爪 基礎から臨床まで 改訂第
2版」東 禹彦 著 (金原出版)

本来であれば水蒸気が通り抜け、水分や油分が入り込むはずの「すきま」がアクリルで埋められてしまうと、爪の上層部は、水蒸気を通すことができず、水分と油分を保持することもできず、乾燥します。

わたしたちは、除光液、リムーバー、アセトンといった有機溶剤を一時的に使うことよりも、**爪表面にアクリル樹脂を長い間**

かぶせておくことのほうが、爪への影響が大きいと考えています。

アクリル樹脂をかぶせている間は、爪が本来持つ、水分と油分を保つ性質と、通気性が阻害されてしまうからです。その間に爪の乾燥がどんどん進みます。

乾燥していたり固まっている物体は、保湿されていたり柔らかか

い物体に比べ、簡単に折れたり、欠けたり、砕けたりします。

これまでと真逆の方法

例えば、芯までカチカチに凍ったバナナの真ん中をカナヅチで叩くと粉々に砕け散りますが、常温でやわらかいバナナの真ん中をカナヅチで叩くと叩いた部分がへこむだけです。

五重の塔や、タワーマンションなどの建築物も、ガチガチに硬めるのではなく、柔軟な構造にして揺れることで衝撃を逃がし、倒れたり、バキッと折れてしまうのを回避しています。

実は、硬くするよりも、やわらかくするほうが、致命的な損傷を回避でき、返って強いのです。

爪も同じだと思っています。やわらかい爪は、欠けたり、ひびが入ったり、簡単にはしません。

わたしたちは、これまで爪は硬くして保護してきました。これからは、真逆ですが、爪をオイルで**やわらかくして保護**する方法も**選択肢の一つ**に加えていただけたら嬉しいです。

アクリル（合成樹脂）で 補強しなければ解決する

爪からアクリル（合成樹脂）を
オフするときに使う有機溶剤
は、アクリル樹脂だけでなく、
爪の質ももろくします。

そもそも、爪のすきまにアクリ
ル樹脂を流し込んで、一旦硬く
なった後に、また有機溶剤で溶
かしてアクリル樹脂を爪のすき

まから抜き取るわけですから、爪の構造がもろくなるのもうなずけます。

爪の表面をプラスチックで硬くすると、一時的に強度は増しますが、素の爪の構造がもろくなってしまいうため、その場しのぎにはなっても、根本的な解決にはならないのです。

ジェルネイル→二枚爪→ベース
コート→二枚爪→ハードナー→
二枚爪→……という悪循環は、
アクリル樹脂で硬くせず、オイ
ルで爪を柔らかくすることで守
りながら、素の爪自体を健康に
すれば断ち切ることができま
す。

そのときに役立つのが、育爪の
ススメで提案している新しいネ
イルケアです。

ネイルケアの新しい形

ネイルケアは、直訳すると、爪のお手入れです。

- ・ ネイルハードナーやベースコートやネイルポリッシュを塗らないネイルケアはどうでしょうか？
- ・ シャイナーやバッファで表面磨きせず、爪の本来の厚みをそのまま残すネイルケアはどうでしょうか？

- ・ 甘皮と爪表面のすきまにポケットをつくらないネイルケアはどうでしょうか？
- ・ 爪表面にアクリル樹脂を塗るための下準備ではないネイルケアはどうでしょうか？
- ・ 素の爪のままお手入れして、素の爪が完成形、というネイルケアはどうでしょうか？

——今ではこのように考えている私ですが、カラーを塗ってい

たころは、今とは違う思い込みを持っていました。なので、変化すること、決断することに、とても大きな痛みがともないました。

思い込み1.

一番悪いのは除光液

できるだけ除光液を使わないようにするため、カラーリングを長持ちさせる工夫をしていました。「爪に一番悪いのは除光液

なんです」とお客様に伝えていました。

思い込み2.

コート剤は絶対に必要

二枚爪のお客様には「毎日ベースコートを塗り重ねてしっかり保護してください」とお伝えしていました。

この2つは心の底から信じていた
たので、疑問を感じることも、
違和感をいだくことも、まった
くありませんでした。

しかし、ネイル材料に含まれる
有機溶剤で化学物質過敏症にな
ったのをきっかけに、有機溶剤
が入った物をすべてやめざるを
得なくなりました。

カラーリングを辞めることになった報告をしたお客様へ、お電話をして、お詫びをしました。

サロンのメニューは、爪をカットして、薄皮を整え、オイルを塗り、マッサージして、素の爪でお帰りいただくものだけになりました。

それからというものの、今までかたくなに信じていたことと、正反対の事実ばかりと対面することになりました。

☑縦スジが深くなる。

☑二枚爪になる。

☑爪が剥離する。

☑爪表面に亀裂が入る。

☑爪表面が小さな穴のように陥没する。

☑爪表面が黄色く色素沈着して落ちない。

以前は、どんなことを試してもこういったトラブルが絶えず、悩みの種でした。

アクリルをやめたら

悩みが消えた

しかし、ネイルカラーやベースコートなどすべて合成樹脂を辞

めたあとは、こうしたトラブル
がすべて消えてなくなりました。
た。

自然と消えてしまったのです。

そのうえ、爪のピンク色の部分
は健康的なピンク色になり、爪
先の白い部分はオイルを塗るだ
けで透明になりました。

たくさんのお客様が、素の爪のまま白い部分がクリアネイル、透き通った爪になったのです。

爪の表面も、磨いていないのにツルツルして、ピカピカに輝いていました。

難しいことはなにもせず、爪の長さや形を整えて、余分な薄皮

を取り除き、オイルで保湿した
だけです。

アクリル（合成樹脂）を使わな
いということは、それを溶かす
有機溶剤も必要がないというこ
とです。

もしかしたら、本来の素の爪
は、わたしたちが想像する以上

に完全な物なのかもしれません。
ん。

2003年にこの衝撃的な事実を知ってから、ずっと、たくさんの方に、この事実を知ってほしいと思ってきました。

今となっては、この事実を伝えるために化学物質過敏症になっ

たのかもしれないとも思っています。

素の爪だけを 13 年間

お手入れしてきたノウハウ

さまざまな偶然が重なって、これまでわたしが実際に自分の身体で経験したことや、素の爪だけを 13 年間以上お手入れしてきた体験が本になりました。

素の爪のまま自分で爪をお手入れする方法を解説した「育爪のススメ」が、2016年12月にマガジンハウスから出版されました。

本の表紙には、わたしの素の爪、天然のクリアネイルが大きく掲載されています。

このお手紙の冒頭で挙げた、悩みや不安がひとつでもある方は、ぜひ、お近くの書店で「育爪のススメ」を探して、読んでみてください。

素の爪のお手入れをメニュー化

そして、もし何か心に響くものを感じたら、ぜひ購入して、効果があるか無いか、あなたの爪で試してみてください。

もしかしたら 1,620 円の投資
で、14 年前のわたしがそうだ
ったように、爪の悩みや不安か
ら解放され、お客様が来なくな
るといふ悩みからも解放される
かもしれません。

たとえば、次のような素の爪の
お手入れをメニューに追加する
のはどうでしょうか。

☑ジェルをお休みする素の爪の健康ケア

☑素爪の健康を取り戻すネイルケア

☑ジェルもコート剤もしない二枚爪 根本解決ケア

☑深爪・爪噛みを改善する素爪ケア

など、いろいろなメニューが用意できると思います。しかし、施術内容はどれも同じです(笑)

「育爪のススメ」を読んでみて、もっと詳しく育爪を学びたいと感じたら、ネイリスト限定の育爪トライアル講座にぜひご参加ください。

ただ、今回の募集には条件があります。

1. 悩みや不安があるネイリストであること
2. 「育爪のススメ」を読んでいること

3. 参加した理由と感想の録音を許可いただけること（顔も名前も出ません）

以上の三点を満たしている方です。同じ条件のもとに集まるネイリストさんたちなので、とても濃厚な回になるかもしれません。

そのときにお会いできるのを楽しみにしております。

ネイリスト限定 育爪トライアル講座

ステップ① [講座の詳細](#)を確認

ステップ② [申込前確認](#)を送信

ステップ③ 自動返信メールから
参加費をクレジットカードで支
払う

ステップ④ 当日、受講する

もし、迷ったり、悩んでいた
り、疑問があったら、
070-5084-1603 にお電話くださ
い。朝 10 時から夜 9 時くらい
の間でしたら出られるかと思い
ます。

わたしから掛ける分には通話料
が無料なので、一旦、お名前を
うかがった後に、折り返します
ね。もし出られなかった場合

も、着信履歴から折り返します。

お電話をお待ちしています～。

そして、あなたとお会い出来るのを楽しみにしています～。

育爪サロン ラメリック

嶋田 美津恵

追伸

ここまで読んでくださったあなたに、お願いがあります。

もし、このお手紙の内容を興味深く感じたり、誰かの役に立つかもしれないと感じたら、あなたのフェイスブックやLINE、ブログやメルマガなどでこのページ <http://ikuzume.jp/nailist> をシェアしていただけないでしょうか？

このお手紙が誰かの悩みや不安を解消するきっかけになれば嬉しいですし、本を買っていただいたり、講座に参加していただけるのも、とてもありがたく、嬉しいです。

最後まで読んでくださって、ありがとうございます。